

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

人間社会科学研究科

（博士課程前期）

人間社会科学研究科では、ディプロマ・ポリシーにすまを学ができるように、以下ので教育課をし、する。

1. 言語学、学、学、学、社会学、学、学、経学、経営学、学、学、化学、学、域研究、教育学、教科教育学、語教育学や、それらに関する学、合でなとの獲をすため、各に関する科をプログラム科として開する。
2. 広くい教と「可なをく科学」のへの意を育するため学院共科を開し、さらに科学、社会学及び教育科学において共基となるやをすため研究科共科を、各において共基となるやをすため、攻共科を開する。
3. 域外の基見にれ、広いや眼考をにけるため、プログラム科としてとして攻する域以外の業科のをとする。
4. 広な課見や課解決ののため、研究は、教員と、教員とはの異なる教員を含む2以の教員とので行う研究を開する。

（博士課程後期）

人間社会科学研究科では、ディプロマ・ポリシーにすまを学ができるように、以下ので教育課をし、する。

1. 言語学、学、学、学、社会学、学、学、経学、経営学、学、学、化学、学、域研究、教育学、教科教育学、語教育学や、それらに関する学、合でなとの獲をすため、研究を開する。
2. 広くい教と「可なをく科学」のへの意を育するため、学院共科を開し、さらに科学、社会学及び教育科学において共基となるやをすため、研究科共科を開する。
3. 狭い域にとらわれない広いや眼考をすため、研究を開する。
4. 広な課見や越した課解決ののため、研究は、教員と、教員とはの異なる教員を含む2以の教員とので行う研究を開する。
5. チームの一員として課解決にむをすため、会におけるにを向け、学のを会な解決にいかにかに活かすかというをにけるため、研究を開する。

人文社会科学専攻

(博士課程前期)

社会科学専攻では、カリキュラム・ポリシーに 基づく 学びが できるように、以下の 科目で教育課程を 実施し、 実施する。

1. 言語学、 文学、 社会学、 心理学、 法学、 政治学、 経済学、 経営学、 教育学、 化学、 工学、 地域研究や、それらに関する学 科、 場合で なると の獲得を するため、各 学 科に関する 科目をプログラム 科目として 開 講する。
2. 広く 深い教 育と「 可能な 未来を 創る科学」の 発展への意 識を育 するため 学院共 同 科目を 開 講し、さらに 社会科学及び 人文社会科学 において共 同 基 礎となる 科目を 実施するため研究科共 同 科目を、各 学 科において共 同 基 礎となる 科目を 実施するため、 専攻共 同 科目を 開 講する。
3. 学 域外の基 礎 見地に 基づき、広い 視野や 眼 光を 身に 付けるため、プログラム 科目として 実施する 学 域以外の 業 科の 科目を 実施とする。
4. 広 大な課 題 見 地や課 題解決 の ため、研究 は、 専攻員と、 専攻員とは 異なる専攻員を含む 2 以 上の 専攻員との 協働で行う 研究を 開 講する。

(博士課程後期)

社会科学専攻研究科では、ディプロマ・ポリシーに 基づく 学びが できるように、以下の 科目で教育課程を 実施し、 実施する。

1. 言語学、 文学、 社会学、 心理学、 法学、 政治学、 経済学、 経営学、 教育学、 化学、 工学、 地域研究、 教育学、 教科教育学、 言語教育学や、それらに関する学 科、 場合で なると の獲得を するため、 研究を 開 講する。
2. 広く 深い教 育と「 可能な 未来を 創る科学」の 発展への意 識を育 するため、学院共 同 科目を 開 講し、さらに 社会科学、 人文社会科学及び教育科学 において共 同 基 礎となる 科目を 実施するため、研究科共 同 科目を 開 講する。
3. 狭い 学 域にとらわれない広い 視野や 眼 光を 実施するため、 研究を 開 講する。
4. 広 大な課 題 見 地や 越した課 題解決 の ため、研究 は、 専攻員と、 専攻員とは 異なる専攻員を含む 2 以 上の 専攻員との 協働で行う 研究を 開 講する。
5. チームの一員として課 題解決に 参加し、 協働を 実施するため、 専攻における 協働を 向け、学 科の 協働を 専攻 協働にいかにかに活かすかという 協働を 身に 付けるため、 研究を 開 講する。